

# かわさきTMO通信

<かわさきTMOの最新情報はホームページで閲覧できます>

## 2020年3月号 No.76

- 第1回ワークショップのご報告
- 来街者アンケート、通行量調査のご報告
- 事務局たより

発行元：かわさきTMO  
 発行責任者：会長 馬場 義弘  
 編集責任者：タウンマネージャー 大木 淳  
 発行日：2020年3月15日  
 発行部数：1,000部  
 ◆連絡先  
 TEL：044-233-8874  
 Email：okuyama-tmo@outlook.jp

かわさきTMO通信は「まちづくり情報交換誌」を目指しています。  
 お気軽に情報をお寄せください。  
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

### ●令和元年度第一回「かわさき未来づくりワークショップ」のご報告

九月三十日(月)、川崎市産業振興会館九階 第三研修室にて、令和元年度「第一回かわさき未来づくりワークショップ」が開催されました。参加者は中学生を含む市民、地元商店街、大型店、行政関係者等、企画者・オブザーバーを含め二十七名でした。

- はじめに、昨年度のワークショップの経緯として、「川崎TMOが目指す将来像」かわさきセントラル構想」を確認しました。
- ①セントラルコア⇨川崎駅+大型商業施設によるにぎわい・結節拠点の形成
  - ②セントラルリースト(ウエスト)⇨繁華街の回遊性の強化
  - ③文化・スポーツコア⇨川崎オリジナルのスポーツ拠点の形成
  - ④歴史・文化回廊⇨東海道川崎宿コンテンツの集積・魅力の発信
  - ⑤水と空の大回廊⇨人々の大きな回遊の創造
- そして、今回は、「実はこんな魅力が！」一日楽しめる！”かわさきコンテンツを発掘しよう!!”をテーマに参加者を三つのグループに分け、各テーブルに地図(川崎駅を中心に半径1km)を置き、日常的なまちの魅力を念頭に置きながら、紹介したい次の四つの「かわさきコンテンツ」を地図に落とし込んでいただきました。
- ①川崎らしいお店(飲食、物販、サービスなど業態を問わず)
  - ②川崎らしいスポット歴史編
  - ③川崎らしいスポット風景編
  - ④まちなかでの個人の思い出・エピソード



それぞれのグループで、「あつ、このお店、おいしい!!」「このお店もお勧めしたい!」「子供の頃、よくここで遊んだ」等、盛り上がっていきます。

その結果、多くの店舗名、歴史、風景の情報が挙がりました。その中でも飲食店舗については、和食、イタリアン、エスニック、焼き肉、居酒屋等で、大師町を含む川崎区、幸区(川崎駅周辺)の百三店舗となりました。

かわさきTMOでは参加者の皆様からの提案を基に今後の事業として、「(仮称)川崎宿手形」の事業を実施してまいります。

“**(仮称)川崎宿手形**”について

事業目的：「川崎セントラル構想」の実現に向けた第一歩として、川崎ならではの魅力的なコンテンツを結集し、市内外への効果的な発信をし、駅直近に集中しがちな客層、特に近年の首都圏で増加傾向にある外国人観光や若年層に対して、中域的な回遊を促し、話題喚起とリピーター効果を最大化する取組といたします。

事業内容：かわさき宿手形協力店舗で利用できる千円三枚(合計三千円)のチケットを販売し、ワークショップで名前が挙げられた店舗

に協力を要請いたします。当面は五十店舗を目標とし、以降、増加を目指します。販売網は宿泊施設、コンビニ、ウェブ等で、すでに県下で実施されている”横浜手形””よこすか手形””小田原・箱根手形”との連動販売も視野に進めてまいります。

## 「(仮称)川崎宿手形説明会 の中止について」

十月から、幾度となく、議論を重ね、川崎駅周辺地区にふさわしい独自の企画も検討いたしました。そのうえで、役員会で、「(仮称)川崎宿手形説明会」の開催を企画し、ワークショップで皆様から名前の挙がった百余店舗に企画書を郵送し、説明会への参加を呼び掛けました。また、企業の協賛等も積極的に働きかけるところでありました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染予防のため、政府からのイベント自粛の要請等を踏まえ、やむなく説明会を中止することに致しました。状況が落ち着き、開催の目途が立ち次第、再度ご案内をさせていただくこととなりました。

## ●来街者アンケートの結果報告

令和元年十一月二十日(水)・二十四日(日)、銀柳街、銀座街、チネチッタ通り、商店街、駅前交番付近、川崎駅北口の五カ所で、各百六十名の来街者の性別、年齢層、職業、住い、交通手段、来街目的、イベントの認知度、川崎駅前地区のイメージ、改善してほしいポイント进行调查致しました。二十日(水)においては、川崎区、幸区・鶴見区からの来街者が六割で、滞在時間は二時間～五時間四十一%、一時間～二時間三十三%、来街目的は仕事・行政関係が二十三%、買物(商店街)二十%、買物(大型店)一二%、飲食十三%でした。街区イメージは賑やか三十一%、交通が便利二十二%である一方で、改善点はゴミ・衛生面が二十九%と圧倒的でした。二十四日(日)においては、川崎区、幸区・鶴見区からの来街者が六割で、滞在時間は二時間～五時間六十%、一時間～二時間三十一%、来街目的は買物(商店街)三十%、買物(大型店)十六%、飲食二十%、映画鑑賞十六%でした。街区イメージは賑やか三十二%、交通が便利二十三%である一方で、や

はり改善点はゴミ・衛生面が三十二%と圧倒的でした。

## ●通行量調査のご報告

三月五日(木)・八日(日)、銀柳街、銀座街、チネチッタ、川崎駅等、川崎周辺十三カ所において、通行量調査を実施いたしました。五日(木)は晴天で、二十五万九千七人(昨年対比九十二%)、八日(日)は雨のち曇りで、二十一万五千八百八十四人(昨年対比八十五%)という結果でした。この結果は新型コロナウイルス感染防止に関わる自粛の影響があるものと思われまます。

## ◆事務局たより◆

私たちは【かわさきTMOの存在理由】を確かにするために、今後の指針として「川崎セントラル構想」を掲げ、九月三十日には「川崎未来づくりワークショップ」を開催致しました。そして参加者の方々とともに、川崎の街の魅力をアピールし、来街を促すものとして紹介するにふさわしい「かわさきコンテンツ」を徹底的に洗い出し、店舗数では百余店舗が挙げられました。それを「仮称かわさき宿手形」に

つなげるべく、令和元年度の後半では、川崎の街らしい“仮称かわさき宿手形”とは何か、他の“手形”との差別化を図るにはどのようなようにしたら良いかを幾度も議論し、いよいよスタートすべく、説明会の開催を企画したところで、新型コロナウイルス感染予防のため、政府からのイベント自粛の要請等を踏まえ、中止することとなりました。

現在、新型コロナウイルス感染予防はイベントの自粛にとどまらず、美術館等の休館、遊園地の休園など、今までに経験したことのない事態になっており、今後の感染の広がりによっては、日常生活においても、様々の不自由に耐えなくてはならない局面に立たされることもあるかもしれません。

しかし、長い歴史を育んできた川崎の街の底力を私たちは決して忘れてはいけません。

令和二年度を迎えるにあたって、ゆっくりでも歩みを止めず、今後につなげていきたいと考えております。ぜひ、今後ともお力をお寄せくださいますようよろしくお願い申し上げます。